



町政懇談会

6月から7月にかけて、町内9箇所（校区単位）で、4回目となる町政懇談会を開催しました。

懇談会では、町の主要施策や財政状況及び学力向上推進プラン等についての説明をするともに、ご参加いただいた住民の皆様からの多岐にわたるご質問やご意見をいただきました。これらの意見を伺い、今後皆様とともに協働によるまちづくりを進めていくための貴重な機会となりました。今回、会場で寄せられたたくさんの質問の中から、主なものを抜粋してお知らせします。

① 教育・文化について

Q 学力がなかなか上がらないようですが、教育委員の人数を増やし、若い世代を入れたいでしょうか？

A 築上町の学力は、5・6年前まで県の平均より劣っていましたし、京築管内でも低い方でした。しかし、3年前から県の学力アップ推進事業の指定を受け、夏休みにサマースクール等の補習授業を実施し、現在では京築管内でも平均より高く、まだまだ伸びると考えています。今後、京築管内でトップになれるよう頑張っていきたいと思います。

Q 英語教育について、早い時期から英語に慣れ、英語力を高めてほしいのですがどう考えていますか？

A 小学校5・6年生は、英語が必修となりました。築上町では10年前から小学校1年生からの英語授業を取り入れ積極的に取組んでいます。また、英語に慣れてもらおうとFMで「わくわくイングリッシュ」を実施しています。

Q 学校教育について、他の市町村で土曜日の授業をしている学校があります。築上町は土曜日の授業をどのように考えていますか？

A 10年ほど前までは第2・4土曜日に授業をしていましたが、ゆとり教育で土曜日の授業がなくなりました。最近になって学力が落ちたということ、土曜日の授業をしようという動きになっていますが、築上町は、土曜日はスポーツなどを通して地域での活動をし、地域との交流を深めています。また、築上町では少人数による授業や夏休みのサマースクールで補習授業を実施し、少しずつ学力が上

が、築上町は、土曜日はスポーツなどを通して地域での活動をし、地域との交流を深めています。また、築上町では少人数による授業や夏休みのサマースクールで補習授業を実施し、少しずつ学力が上

② 環境について

Q 合併浄化槽や太陽光発電の補助金はありますか？

A 合併浄化槽の設置は5人槽・7人槽いずれも補助金があり、最高10人槽まであります。金額は5人槽が33万2千円、7人槽が41万4千円、10人槽が54万8千円です。

太陽光発電設置補助額は1kwあたり3万円、上限4kwで計12万円です。予定軒数は70軒で、すでに20軒分の申請があり交付決定しています。まだ対応できますので、環境課まで相談にお越しください。

③ 基地対策について

Q 基地対策の恩恵がありません。防音工事も一部の地域しか対象になっていません。



A 九州防衛局及び防衛省に、飛行機が上空を通る地区の全域を防音工事の対象にしてほしいと何度も要望しています。少しずつでも対象を広げるような明確な回答をもらい、実施していきたいと思っています。で、しばらくお待ちください。

また、町には基地関連で国から調整交付金や再編交付金が交付されています。それを原資として道路改良や防火水槽設置や中学生までの子ども医療費制度で医療費の軽減を実施しています。防火水槽等の計画があれば、交付金を利用することができそうです。

Q 基地の飛行機を見学に来る車が、今津の海岸の入り口に多いときは10台以上停まっています。また車が通って畦や田んぼに砂利が入ってきて作業がしにくいです。今津の児童公園の所に駐車場を作ってもえませんか？

A 以前も同様の提案があり、九州防衛局と事業ができないか協議を行いました。ただそこまで行く間の集落の道路改良も必要ではないかという意見もあり、この問題については、地元の自治会を含めて協議・問題解決方法を調整させていただきます。と思っています。見学者とのトラブルですが、定期的に現地へ出向いています。取り締まりは警察しかできないので、警察にも常時パト

ロール・取締りをしてもらうよう協力依頼をしています。

④ 商工観光について

Q 来年からNHK大河ドラマ「軍師 官兵衛」が放送されれば、築上町にもかなり人がくるのではないかと思います。そのためにも、早急に看板の整備をしてもらいたいです。

A 全ての看板を見直していきたいと考えています。発足した宇都宮関連協議会の中で看板の設置やお土産品の開発をしていきたいと考えています。

Q 企業誘致の現在の取り組み、今後の見通しについてお聞かせください。



A 企業用地は椎田干拓の中と干拓の横、日奈古グラウンドを考えています。企業誘致活動が進まない原因として、光通信が来ていないということがありましたので、整備を行いました。そして、現在大阪の太陽光発電の会社は西角田漁港に隣接する町有地を貸すようにしており、そうなればある程度借地料等も入ってきます。よりよいまちづくりをして築上町の評判が上れば、企業が来てくれるのではと考えています。

Q 旧蔵内邸の今後のイベント及び年間観覧者予定目標数を教えてください。

A 年間の来場予定者は3万人を見込んでいます。10月に「山本作兵衛炭坑画展」を開催します。また今後も生け花展等、色々なイベントをして集客につなげようと考えています。

⑤ 税金について

Q 税金の徴収について、国民健康保険税の徴収率が低いですが、どのような対策をしていますか。

A 徴収率を上げるために、滞納している個人ごとにカードを作り整理しながら督促状を送っています。また、給与や預貯金などの財産の差し押

さえや、車を差し押さえたこともあります。固定資産を持つている方は固定資産を差し押さえ、年金も押さえることがあります。国民健康保険税の収納率が低いのは、転入転出が多いのも要因の1つで、遠くに転出した場合、徴収が困難になります。また、保険税を払っていない方には保険証を交付していません。誓約書を入れて少しずつでも納めている方には、短期の1ヶ月や半年の有効期限の保険証を渡すようにしています。

⑥ 鳥獣対策について

Q 鹿・猪対策の柵（メッシュワイヤー）の補助金を検討していただきたいです。

A 防護ネット事業については、昨年度から実施しており、本年度も計画しています。現在4自治会から20kmを超える要望が出ており、検討しています。今後優先順位等実施地区についても協議していきたいと考えています。また、今年7月から猪・鹿について、資格がある方が1頭捕獲すると報奨金として8,000円が国から交付されます。駆除と防護の2面の対策を進めていきたいと考えています。



⑦ 道路管理について

Q 地区計画に上げている所で、舗装されていないところが数箇所あり、遅れている所を優先的に実施してほしいです。

A 地区計画に上げている所は主管課で優先順位や予算の状況をみて実施しています。66自治会あるので、急を要する所から実施していきます。

Q 県道沿線の雑草を地元で刈っていますが、できない箇所があり、県は言わないとしてくれません。交通量も多く、町からも要望してほしいです。

A 予算上の問題があるかもしれませんが、町からも県に要望していきます。

⑧ 福祉について

Q 緊急情報システムはどのように配付し、町内で何軒持っていますか？

A 現在、緊急通報装置を設置している世帯は304件。配付は、民生委員、若しくは自治会長・地域包括支援センター職員等を通じて高齢者からの依頼を受け、町が配付しています。（但し、台数に限りがあり、配付にあつては対象条件あり）

Q 民生委員について、エリア担当があるとのこと、居住の自治会でない民生委員に相談しなければなりません。居住の自治会の民生委員に相談できるようしてほしいです。

A 国の基準で民生委員の数が決まっており、66自治会ありますが、民生委員の数は57名しかありません。県に要望もしましたが、町の人口が減ってきており増員はできないとのこと。自治会から民生委員の推薦をいただき、任命は厚生労働大臣がしており、町には権限がありませんので、ご了承ください。

⑨ 防災について

Q 災害時の際、誘導の指示・統括は、町・消防・警察・自治会のごが行うのですか？

A 災害時の対応について、台風や大雨の警報が出た場合は、役場に警戒本部を設置します。災害が発生すれば、災害対策本部に切り替え、役場の職員及び消防団で対応します。また昨年度より、各自治会で自主防災組織を設立していただきました。重大な災害の場合、町が避難指示または避難勧告を出しますので、地域住民の方の退避をお願いします。

たいと考えています。

Q 消防団員がサラリーマンで、昼間火事があっても初期消火ができず、予備軍を育成しなければいけません。町長はどう考えていますか。

A でできれば日中いる方に消防団に入ってもらいたいと思います。消火栓のある所は、各自治会で設立している自主防災組織で、日頃から火災等の訓練をしていただきたいと思います。またその組織の中で議論していただき、必要なものがあれば町から支給をします。そして、合併してから防火水槽もたくさん作りました。今後用地があれば、防火水槽を作っていきたいと考えています。

⑩ まちづくり・過疎対策について

Q 町の過疎対策と将来計画について説明してください。

A 過疎対策について、まず学校がなくなれば若い人がいなくなり。小学校を4校統廃合しましたが、10人未満にならない限りは統廃合はしないようにしています。また、現状維持を守るために3世代同居を推進しています。企業が来てくれるといいのです。

が、なかなか難しいのが現状です。転入転出は同じくらい割合ですが、死亡者数に比べると出生者数は少なく、自然減となっています。政策としては子育て支援を実施し、地域の活性化を図りたいと考えています。

Q 地区計画について、毎年同じ案件を上げています。自治会としては切羽つまったところで上げていますが、町からは何も返事がありません。

A 地区計画は短期・中期・長期とあり、短期の1番目は優先的に実施する方針です。ただし、用地の問題・補助事業の関係で、すぐ実行できない場合や財政的に難しい場合もあります。基本的に担当課が主となり検討・実施していくこととなります。今までの経過については、自治会長に自治会別の工事等実施状況等を整理してお渡ししていきます。

⑪ その他

Q 火葬場の建築デザイン賞・建設金額について説明してください。

A 第24回福岡県美しいまちづくり建築賞で築上町の火葬場が大賞を受賞しました。建

物周辺の環境がよく、住民の方の理解があったからこそ、人家に近い場所でのこのような取り組みができたことにより、大賞をとることができました。建設費は約7億円です。



Q 町内巡回のコミュニティバスについて、近くに路線がないため変更・増便してもらえませんか？

A 合併してから町内にコミュニティバスが走っていますが、町道の幹線道路・県道・国道を巡回しています。乗車率が低く、現在の路線を運行するのが精一杯です。他の地区からもたくさん要望がありますが、バスの台数や予算の範囲内で走行しています。

また、路線を変更する場合と、現在の利用者に影響が出ると思われ、自治会内で協議していただき、慎重に決めていきたいと考えています。

Q 町職員について、今後3年間の退職予定者及び採用予定者数を教えてください。

A 今年の退職者が、12名で採用が7名程度です。採用予定は決まっていますが、プラスマイナス1名になることもあります。少し職員は減りますが、来年から法律が変わり、年金の支給年数が遅れるため、定年退職した職員を再任用しなければなりません。定年退職者を主体に家賃や水道料金等の収納専門の課を設けようと考えています。

約2ヶ月間にわたって、町政懇談会を実施し、多くの町民の方にご参加していただきましたこと、紙面を借りてお礼申し上げます。

また、懇談会の中で貴重なご意見を多数いただき、誠にありがとうございます。今後の町政運営に活かしていきたいと考えております。引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。